

残食調査アンケートの質問項目と集計方法について

◆献立例

献立	栗ご飯	味噌汁	さんまの塩焼き	煮物	デザート
材料	ご飯 栗	小松菜 豆腐 わかめ	さんま 大根	里芋 人参 ごぼう 鶏肉 絹さや	柿

◆残したものの

- ・栗ご飯（量が多かった、ご飯がやわらかすぎた）
- ・煮物（人参が嫌いなので）

◆質問パターンA

(1) 残したものは何ですか

- ①栗ご飯 ②味噌汁 ③さんまの塩焼き ④煮物 ⑤柿

(2) 残した理由は何ですか

- ①おいしくなかった ②嫌いな食べ物だった ③調理法に問題があった
 ④量が多かった ⑤盛り付けが悪かった ⑥時間がなかった
 ⑦最近同じものを食べた ⑧食品アレルギーがある ⑨体調が悪かった
 ⑩その他 { }

- (問題点) ・複数の食材を残した場合に、理由を分析することが困難
 ・理由がたくさん並んでいると探しにくい (答えにくい)

◆質問パターンB (改善版)

(1) 栗ご飯について

残しましたか ①はい ②いいえ

残した理由は何ですか

- ①量が多かった ②ご飯がかたすぎた ③ご飯がやわらかすぎた
 ④その他 { }

(2) 味噌汁について

残しましたか ①はい ②いいえ

残した理由は何ですか . . .

(3) さんまの塩焼きについて

残しましたか ①はい ②いいえ

残した理由は何ですか . . .

◆アンケートの質問（望ましいスタイル）

（献立ごとに聞く）

- ・ 献立1つ1つに、具体的な質問を用意する
- ・ 1つの質問の選択肢が多すぎないこと
- ・ 提供者側の問題か、喫食者側の問題かを区別して聞く

（食事全般に関する質問を入れる）

- ・ 食堂環境などに関する質問
- ・ 喫食者の体調、個人的事情などを確認する質問
- ・ 残食に対する考え方の質問

（アンケート用紙の形式や体裁）

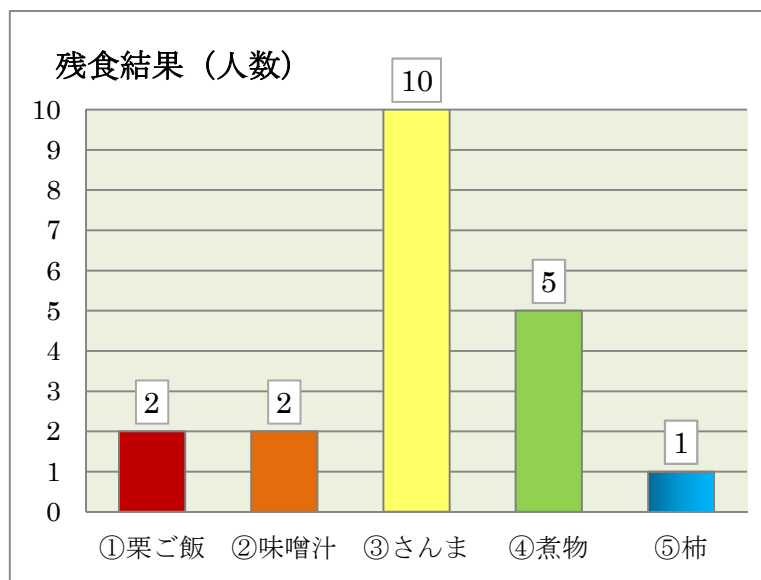
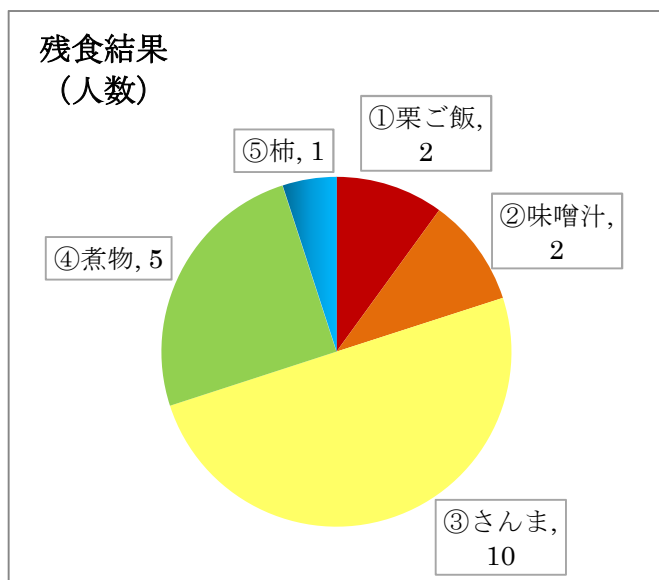
- ・ 質問項目が読みやすく、わかりやすく、記入しやすいこと
- ・ 集計がしやすいこと
- ・ イラスト・写真などを入れて親しみやすい体裁を工夫する
- ・ 説明文、お願い文、お礼などを丁寧な表現で書く

◆集計・分析方法について

(1) 残したものは何ですか

(回答例) 回答者10名による複数回答

①栗ご飯	2
②味噌汁	2
③さんまの塩焼き	10
④煮物	5
⑤柿	1
回答数	20



望ましいのは円グラフ／棒グラフのどちらか？

- ①円グラフが望ましい
- ②棒グラフが望ましい
- ③どちらのグラフでも特に問題はない